

有効成分グルホシネートを含有する申請農薬の
使用方法及び薬効・薬害試験結果概要

1. TAJ (グルホシネート 18.5%液剤)

(1) 使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用 回数	使用 方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈 水量			
小麦	圃場内の 周縁部	一年生雑草	は種前 (雑草生育期)	300~750 mL/10a	100~150 L/10a	1回	雑草 茎葉散布	4回以内 (は種後は3回以 内)
			は種後出芽前 (雑草生育期)	300~500 mL/10a				
			収穫7日前 まで (雑草生育期)	300~500 mL/10a				
かんきつ	-	多年生雑草	収穫21日前 まで(雑草生育 期)	300~500 mL/10a		3回 以内		3回以内
りんご		一年生雑草	300~500 mL/10a					
		多年生雑草	500~1000 mL/10a					
ぶどう	-	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期)	300~500 mL/10a	3回 以内	3回以内		
		多年生雑草		500~1000 mL/10a				
なし		一年生雑草		300~500 mL/10a				
	多年生雑草	500~1000 mL/10a						
かき	-	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期)	300~500 mL/10a	3回 以内	3回以内		
		多年生雑草		500~1000 mL/10a				
もも		一年生雑草		300~500 mL/10a				
		多年生雑草		500~1000 mL/10a				
キャベツ	-	一年生雑草	収穫45日前 まで(雑草生育 期定植前又は 畦間処理)	300~500 mL/10a	100~150 L/10a	2回 以内	雑草 茎葉散布	2回以内
はくさい				300~500 mL/10a				
きゅうり			収穫前日まで (雑草生育期定 植前又は畦間 処理)	300~500 mL/10a	3回 以内	3回 以内	3回以内	
なす				300~500 mL/10a				
ピーマン				300~500 mL/10a				
トマト				300~500 mL/10a				
				300~500 mL/10a				
ミニトマト				300~500 mL/10a				

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ケルシネット及びケルシネットPを含む農薬の総使用回数		
				薬量	希釈水量					
ねぎ	-	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)	300~500 mL/10a	100~150 L/10a	2回 以内	雑草 茎葉散布	2回以内		
たまねぎ				300~500 mL/10a						
ブロッコリー				300~500 mL/10a						
だいこん			収穫45日前 まで(雑草生育 期は種前又は 畦間処理)	300~500 mL/10a						
ほうれんそう			収穫7日前ま で(雑草生育期 は種前又は畦 間処理)	300~500 mL/10a						
レタス			収穫30日前 まで(雑草生育 期定植前又は 畦間処理)	300~500 mL/10a						
かんしょ			収穫14日前 まで(雑草生育 期挿苗前又は 畦間処理)	200~500 mL/10a						
ばれいしょ			雑草生育期植 付前又は植付 後萌芽直前	100~200 mL/10a					1回	3回以内(萌芽前は 1回以内、萌芽後は 2回以内)
			収穫21日前 まで(畦間処 理:雑草生育 期)	300~500 mL/10a					2回 以内	
えだまめ			は種前 (雑草生育期)	300~500 mL/10a					3回 以内	3回以内
			は種後出芽前 (雑草生育期)	300~500 mL/10a						
さやいんげん			定植5日前ま で(雑草生育 期)	300~500 mL/10a					3回 以内	3回以内
			収穫14日前 まで(畦間処 理:雑草生 育期)	300~500 mL/10a						
			は種前 (雑草生育期)	300~500 mL/10a						
さやいんげん	定植前 (雑草生育期)	300~500 mL/10a	3回 以内	3回以内						
	収穫前日まで (畦間処理:雑 草生育期)	300~500 mL/10a								

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ゲルシート及びゲルシートPを含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
さやえんどう	-	一年生雑草	は種前 (雑草生育期)	300~500 mL/10a	100~150 L/10a	3回 以内	雑草 茎葉散布	3回以内	
			定植前 (雑草生育期)	300~500 mL/10a					
			収穫前日まで (畦間処理:雑草生育期)	300~500 mL/10a					
水稻 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草 多年生広葉雑草	収穫7日前 まで(雑草生育期)	500~1000 mL/10a		2回 以内			2回以内
水田作物、畑作物 (休耕田)	休耕田	一年生雑草 多年生雑草	雑草生育期	500~1000 mL/10a		3回 以内			3回以内
水田作物 (水田刈跡)	水田刈跡	一年生雑草	雑草生育期	300~500 mL/10a		1回			1回
花き類・観葉植物	-		雑草生育期 畦間処理	300~500 mL/10a	3回 以内	植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に雑草 茎葉散布	3回以内		
樹木類			雑草生育期	300~500 mL/10a					
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	多年生雑草	雑草生育期	500~1000 mL/10a				100~200 L/10a	3回 以内
			雑草生育期	1000~2000 mL/10a					

(2) 薬効

① 小麦

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-1 : T A J の薬効・薬害試験結果概要 (小麦、一年生雑草)

作物名	試験場所 実施年度	試験条件					結果	
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈水量 (L/10a)			
小麦	茨城 H27	一年生雑草	は種 16 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				750	100			
小麦	兵庫 H27	一年生雑草	は種 22 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				750	100			
小麦	山口 H27	一年生雑草	は種 21 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				750	100			
小麦	福岡 H27	一年生雑草	は種 15 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				750	100			
小麦	兵庫 H28	一年生雑草	は種 25 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			

作物名	試験 場所 実施 年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
				750	100			
小麦	佐賀 H28	一年生雑草	は種 13 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				750	100			
小麦	茨城 H27	一年生雑草	は種後、 出芽前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
小麦	栃木 H27	一年生雑草	は種後、 出芽前、 雑草発生前	300	100	土壌 処理*	雑草の再生が少なく 効果は判然としな かった。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
小麦	山口 H27	一年生雑草	は種後、 出芽前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
小麦	福岡 H27	一年生雑草	は種後、 出芽前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
小麦	栃木 H28	一年生雑草	は種後、 出芽前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
小麦	兵庫 H28	一年生雑草	は種後、 出芽前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
小麦	長野 H27	一年生雑草	茎立ち期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (周縁部)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
小麦	香川 H27	一年生雑草	茎立ち期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (周縁部)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
小麦	福岡 H27	一年生雑草	茎立ち期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (周縁部)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
小麦	徳島 H27	一年生雑草	茎立ち期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (周縁部)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
小麦	岩手 H28	一年生雑草	登熟期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (周縁部)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
小麦	静岡 H28	一年生雑草	茎立ち期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (周縁部)	効果の確認はできな かった。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
小麦	福岡 H28	一年生雑草	茎立ち期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (周縁部)	無処理区と比較して 効果が認められた が、その程度は低か った。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			

*使用方法「雑草茎葉散布」で実施する目的であったが、は種後出芽前に雑草の発生がなく、使用方法「土壌処理」の試験となったもの。

② 水稻（水田畦畔）

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草及び多年生広葉雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-2：T A J の薬効・薬害試験結果概要（水稻（水田畦畔）、一年生雑草、多年生広葉雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
水稻(水田畦畔)	宮城 H27	一年生雑草 多年生広葉雑草	稲分げつ期、 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
水稻(水田畦畔)	千葉 H27	一年生雑草 多年生広葉雑草	稲移植 5 日前、 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
水稻(水田畦畔)	愛媛 H27	一年生雑草 多年生広葉雑草	稲分げつ期、 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
水稻(水田畦畔)	福岡 H27	一年生雑草 多年生広葉雑草	稲分げつ期、 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
水稻(水田畦畔)	岩手 H28	一年生雑草 多年生広葉雑草	稲分げつ期、 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
水稻(水田畦畔)	茨城 H28	一年生雑草 多年生広葉雑草	稲分げつ期、 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			

③ 水田作物、畑作物（休耕田）

薬効試験の結果、一年生雑草及び多年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-3：T A J の薬効試験結果概要（水田作物、畑作物（休耕田）、一年生雑草、多年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果	
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)		
水田作物、 畑作物 (休耕田)	岡山 H27	一年生雑草 多年生雑草	雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。
				500	150		
				1,000	100		
水田作物、 畑作物 (休耕田)	山口 H27	一年生雑草 多年生広葉雑草	雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。
				500	150		
				1,000	100		
水田作物、 畑作物 (休耕田)	福岡 H27	一年生雑草	雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。
				500	150		
				1,000	100		
水田作物、 畑作物 (休耕田)	秋田 H28	一年生雑草 多年生雑草	雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。
				500	150		
				1,000	100		
水田作物、 畑作物 (休耕田)	茨城 H28	一年生雑草 多年生雑草	雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。
				500	150		
				1,000	100		

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果	
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)		
水田作物、 畑作物 (休耕田)	山口 H28	一年生雑草 多年生雑草	雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な 効果が認められた。
				500	150		
				1,000	100		
水田作物、 畑作物 (休耕田)	秋田 H29	多年生雑草	雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な 効果が認められた。
				500	150		
				1,000	100		
水田作物、 畑作物 (休耕田)	茨城 H29	多年生イネ科雑草	雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な 効果が認められた。
				500	150		
				1,000	100		
水田作物、 畑作物 (休耕田)	山口 H29	一年生雑草多年 生雑草	雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な 効果が認められた。
				500	150		
				1,000	100		

④ 水田作物（水田刈跡）

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-4：T A J の薬効・薬害試験結果概要（水田作物（水田刈跡）、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
水田作物(水田 刈跡)	宮城 H27	一年生雑草	稲収穫後、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
水田作物(水田 刈跡)	茨城 H27	一年生雑草	稲収穫後、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
水田作物(水田 刈跡)	兵庫 H27	一年生雑草	稲収穫後、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
水田作物(水田 刈跡)	福岡 H27	多年生広葉雑草*	稲収穫後、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害の調査は 実施しなかつ た。
				300	150			
				500	100			
水田作物(水田 刈跡)	宮城 H28	一年生雑草	稲収穫後、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
水田作物(水田 刈跡)	茨城 H28	一年生雑草	稲収穫後、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
水田作物(水田 刈跡)	岡山 H28	一年生雑草	稲収穫後、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			

*一年生雑草を対象に試験を実施する目的であったが、多年生広葉雑草の試験となったもの。

⑤ かんきつ

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草及び多年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-5 : T A J の薬効・薬害試験結果概要 (かんきつ、一年生雑草、多年生雑草)

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
かんきつ	和歌山 H28	一年生雑草	春期 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かんきつ	和歌山 H28	一年生雑草	夏期 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かんきつ	山口 H28	一年生雑草	春期 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かんきつ	山口 H28	一年生雑草	夏期 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かんきつ	佐賀 H28	一年生雑草	春期 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かんきつ	佐賀 H28	一年生雑草	夏期 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かんきつ	熊本 H28	一年生雑草	春期 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かんきつ	熊本 H28	一年生雑草	夏期 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かんきつ	佐賀 H29	一年生雑草	春期 雑草生育 期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かんきつ	佐賀 H29	一年生雑草	夏期 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かんきつ	山口 H30	一年生雑草	春期 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かんきつ	山口 H30	一年生雑草	夏期 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かんきつ	福岡 H28	多年生雑草	春期 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かんきつ	福岡 H28	多年生雑草	夏期 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かんきつ	熊本 H28	多年生広葉雑草	春期 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
かんきつ	熊本 H28	多年生広葉雑草	夏期 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かんきつ	福岡 H29	多年生雑草	春期 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かんきつ	福岡 H29	多年生雑草	秋期 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かんきつ	佐賀 H29	多年生雑草	春期 雑草生育 期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かんきつ	佐賀 H29	多年生雑草	夏期 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かんきつ	宮崎 H29	多年生雑草	春期 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かんきつ	宮崎 H29	多年生雑草	夏期 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かんきつ	福岡 H30	多年生雑草	春期 雑草生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かんきつ	福岡 H30	多年生雑草	秋期 雑草生育 期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			

⑥ りんご

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草及び多年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-6：T A J の薬効・薬害試験結果概要（りんご、一年生雑草、多年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
りんご	岩手 H27	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十 分な効果が認められ た。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	岩手 H27	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十 分な効果が認められ た。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	秋田 H27	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十 分な効果が認められ た。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	秋田 H27	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十 分な効果が認められ た。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
りんご	富山 H27	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	富山 H27	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	千葉 H27	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	千葉 H27	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	青森 H28	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	青森 H28	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	宮城 H28	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	宮城 H28	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	石川 H28	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	石川 H28	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	群馬 H28	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	群馬 H28	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	長野 H28	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	長野 H28	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
りんご	岩手 H27	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
りんご	岩手 H27	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
りんご	宮城 H27	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
りんご	宮城 H27	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
りんご	秋田 H27	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
りんご	秋田 H27	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
りんご	千葉 H27	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
りんご	千葉 H27	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
りんご	青森 H28	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
りんご	青森 H28	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
りんご	岩手 H28	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
りんご	岩手 H28	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
りんご	秋田 H28	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
りんご	秋田 H28	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			

⑦ ぶどう

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草及び多年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-7：T A J の薬効・薬害試験結果概要（ぶどう、一年生雑草、多年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
ぶどう	山形 H28	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
ぶどう	山形 H28	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
ぶどう	香川 H28	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ぶどう	香川 H28	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ぶどう	大分 H28	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ぶどう	大分 H28	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ぶどう	富山 H29	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ぶどう	富山 H29	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ぶどう	長野 H29	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ぶどう	長野 H29	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ぶどう	福岡 H29	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ぶどう	福岡 H29	一年生イネ科 雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ぶどう	山形 H28	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
ぶどう	山形 H28	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
ぶどう	大分 H28	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
ぶどう	大分 H28	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
ぶどう	富山 H29	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
ぶどう	富山 H29	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
ぶどう	栃木 H29	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
ぶどう	栃木 H29	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
ぶどう	長野 H29	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
ぶどう	長野 H29	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
ぶどう	愛知 H29	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
ぶどう	愛知 H29	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
ぶどう	大分 R2	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
ぶどう	大分 R2	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			

⑧ なし

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草及び多年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-8 : T A J の薬効・薬害試験結果概要 (なし、一年生雑草、多年生雑草)

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
なし	愛知 H29	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
なし	愛知 H29	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
なし	鳥取 H29	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
なし	鳥取 H29	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
なし	栃木 H30	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
なし	栃木 H30	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
なし	鳥取 H30	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
なし	鳥取 H30	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
なし	大分 H30	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
なし	大分 H30	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
なし	愛知 R1	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
なし	愛知 R1	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
なし	愛知 H29	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	愛知 H29	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	鳥取 H29	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	鳥取 H29	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	栃木 H30	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	栃木 H30	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	鳥取 H30	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	鳥取 H30	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	大分 H30	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	大分 H30	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	千葉 R1	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
なし	千葉 R1	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	千葉 R2	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	千葉 R2	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	福岡 R2	多年生広葉 雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
なし	福岡 R2	多年生広葉 雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			

⑨ かき

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草及び多年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-9：T A J の薬効・薬害試験結果概要（かき、一年生雑草、多年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
かき	長野 H27	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	長野 H27	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	愛知 H27	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	愛知 H27	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	岐阜 H27	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	岐阜 H27	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	愛媛 H27	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	愛媛 H27	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
かき	長野 H28	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	長野 H28	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	静岡 H28	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	静岡 H28	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	奈良 H28	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	奈良 H28	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
かき	長野 H27	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かき	長野 H27	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かき	愛知 H27	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かき	愛知 H27	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かき	岐阜 H27	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かき	岐阜 H27	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かき	長野 H28	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かき	長野 H28	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かき	静岡 H28	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かき	静岡 H28	多年生イネ科雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			
かき	岐阜 H28	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				500	150			
				1,000	100			

作物名	試験場所 実施 年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
かき	岐阜 H28	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			

⑩ もも

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草及び多年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-10：T A J の薬効・薬害試験結果概要（もも、一年生雑草、多年生雑草）

作物名	試験場所 実施 年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
もも	山形 H29	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
もも	山形 H29	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
もも	山梨 H29	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
もも	山梨 H29	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
もも	長野 H29	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
もも	長野 H29	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
もも	愛知 H29	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
もも	愛知 H29	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
もも	富山 H30	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
もも	富山 H30	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
もも	富山 R1	一年生雑草	春期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
もも	富山 R1	一年生雑草	夏期雑草 生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認め られた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
もも	山形 H29	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
もも	山形 H29	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
もも	山梨 H29	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
もも	山梨 H29	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
もも	長野 H29	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
もも	長野 H29	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
もも	富山 H30	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
もも	富山 H30	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
もも	山梨 H30	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
もも	山梨 H30	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
もも	長野 H30	多年生雑草	春期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			
もも	長野 H30	多年生雑草	夏期雑草 生育期	500	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				500	150			
				1,000	100			

⑪ キャベツ

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-11：T A J の薬効・薬害試験結果概要（キャベツ、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件					結果	
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
キャベツ	長野 H28	一年生雑草	定植直前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
キャベツ	兵庫 H28	一年生雑草	定植 29 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
キャベツ	神奈川 H29	一年生雑草	定植 12 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
キャベツ	長野 H29	一年生雑草	定植前日、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
キャベツ	福岡 H29	一年生雑草	定植 35 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
キャベツ	福岡 H30	一年生雑草	定植 3 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
キャベツ	長野 H28	一年生雑草	外葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
キャベツ	兵庫 H28	一年生雑草	結球期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
キャベツ	神奈川 H29	一年生雑草	結球期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
キャベツ	長野 H29	一年生雑草	外葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
キャベツ	福岡 H29	一年生雑草	外葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
キャベツ	福岡 H30	一年生雑草	結球期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
キャベツ	神奈川 R1	一年生雑草	外葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			

⑫ はくさい

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-12：T A J の薬効・薬害試験結果概要（はくさい、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 希釈 水量 (L/10a)			
はくさい	兵庫 H28	一年生雑草	定植 28 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
はくさい	茨城 H28	一年生雑草	定植 12 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
はくさい	鹿児島 H28	一年生雑草	定植 21 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
はくさい	茨城 H29	一年生雑草	定植 8 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
はくさい	鹿児島 H29	一年生雑草	は種 7 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
はくさい	茨城 H30	一年生雑草	定植 13 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
はくさい	兵庫 H28	一年生雑草	外葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
はくさい	茨城 H28	一年生雑草	外葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
はくさい	千葉 H28	一年生雑草	結球期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
はくさい	鹿児島 H28	一年生雑草	外葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
はくさい	茨城 H29	一年生雑草	外葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
はくさい	鹿児島 H29	一年生雑草	外葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			

⑬ きゅうり

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-13：T A J の薬効・薬害試験結果概要（きゅうり、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
きゅうり	茨城 H28	一年生雑草	定植 11 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
きゅうり	千葉 H28	一年生雑草	定植 9 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
きゅうり	茨城 H29	一年生雑草	定植 11 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
きゅうり	千葉 H29	一年生雑草	定植 10 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
きゅうり	山梨 H29	一年生雑草	定植 14 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
きゅうり	茨城 H30	一年生雑草	定植 8 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
きゅうり	茨城 H28	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
きゅうり	千葉 H28	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
きゅうり	茨城 H29	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
きゅうり	千葉 H29	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
きゅうり	宮崎 H30	一年生雑草	茎葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			

⑭ なす

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-14：T A J の薬効・薬害試験結果概要（なす、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
なす	新潟 H28	一年生雑草	定植 3 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が認 められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
なす	茨城 H28	一年生雑草	定植 18 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
なす	千葉 H28	一年生雑草	定植 9 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
なす	京都 H28	一年生雑草	定植 12 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
なす	山梨 H29	一年生雑草	定植 14 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
なす	山梨 H30	一年生雑草	定植直前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
なす	宮崎 H30	一年生雑草	定植 5 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
なす	新潟 H28	一年生雑草	開花・結果 期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
なす	茨城 H28	一年生雑草	開花・結果 期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
なす	千葉 H28	一年生雑草	開花・結果 期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
なす	山梨 H30	一年生雑草	開花・結果 期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
なす	宮崎 H30	一年生雑草	開花・結果 期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
なす	新潟 R1	一年生雑草	開花・結果 期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			

⑮ ピーマン

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-15 : T A J の薬効・薬害試験結果概要 (ピーマン、一年生雑草)

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
ピーマン	茨城 H28	一年生雑草	定植 11 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
ピーマン	千葉 H28	一年生雑草	定植 9 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ピーマン	兵庫 H28	一年生雑草	定植 13 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ピーマン	千葉 H29	一年生雑草	定植 11 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ピーマン	山梨 H30	一年生雑草	定植直前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ピーマン	宮崎 H30	一年生雑草	定植 5 日前、雑 草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ピーマン	茨城 H28	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ピーマン	千葉 H28	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ピーマン	兵庫 H28	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ピーマン	千葉 H29	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ピーマン	山梨 H30	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ピーマン	宮崎 H30	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ピーマン	宮崎 R1	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			

⑩ トマト、ミニトマト

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

ミニトマトの一年生雑草に対する効果については、トマトの試験で評価した。

表 1-16：T A J の薬効・薬害試験結果概要（トマト、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
トマト	茨城 H28	一年生雑草	定植 11 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件					結果	
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
トマト	千葉 H28	一年生雑草	定植 8 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トマト	千葉 H29	一年生雑草	定植 10 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トマト	茨城 H30	一年生雑草	定植 8 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トマト	宮崎 H30	一年生雑草	定植 5 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トマト	茨城 R2	一年生雑草	定植 20 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トマト	茨城 H28	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トマト	千葉 H28	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トマト	千葉 H29	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トマト	宮崎 H30	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トマト	茨城 R1	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トマト	千葉 R1	一年生雑草	開花・結果期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			

⑰ ねぎ

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-17：T A J の薬効・薬害試験結果概要（ねぎ、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件					結果	
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
ねぎ	青森 H28	一年生雑草	定植 14 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ねぎ	千葉 H28	一年生雑草	定植 10 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果が 認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施 年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
ねぎ	京都 H28	一年生雑草	定植 17 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ねぎ	鹿児島 H28	一年生雑草	定植 7 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ねぎ	香川 H29	一年生雑草	定植 20 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て効果が認められ た。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ねぎ	鹿児島 H29	一年生雑草	定植 7 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て効果が認められ た。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ねぎ	茨城 H28	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ねぎ	長野 H28	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ねぎ	香川 H28	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ねぎ	鹿児島 H28	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	高温多湿な条件 下では雑草優位と なり十分な効果が 確認できなかつた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ねぎ	和歌山 H29	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ねぎ	香川 H29	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ねぎ	和歌山 H30	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ねぎ	長野 R1	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			

⑱ たまねぎ

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-18：T A J の薬効・薬害試験結果概要（たまねぎ、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施 年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
たまねぎ	栃木 H28	一年生雑草	定植 13 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て効果が認められな かった。	薬害は認められ なかつた。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
たまねぎ	兵庫 H28	一年生雑草	定植17日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	和歌山 H28	一年生雑草	定植前日、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 効果が認められた が、その程度は低か った。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	福岡 H28	一年生雑草	定植直前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	栃木 H29	一年生雑草	定植12日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	兵庫 H29	一年生雑草	定植14日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	佐賀 H29	一年生雑草	定植28日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	栃木 H30	一年生雑草	定植15日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	佐賀 H30	一年生雑草	定植29日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	栃木 H29	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	兵庫 H28	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	和歌山 H28	一年生広葉 雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	佐賀 H29	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	栃木 H29	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
たまねぎ	和歌山 H29	一年生雑草	茎葉伸長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			

⑬ ブロccoli

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-19 : T A J の薬効・薬害試験結果概要 (ブロccoli、一年生雑草)

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
ブロccoli	茨城 H28	一年生雑草	定植 7 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ブロccoli	香川 H28	一年生雑草	定植 10 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ブロccoli	福岡 H28	一年生雑草	定植 4 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ブロccoli	香川 H29	一年生雑草	定植 15 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ブロccoli	宮崎 H29	一年生雑草	定植前日、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ブロccoli	香川 H30	一年生雑草	定植 2 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ブロccoli	茨城 H28	一年生雑草	葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ブロccoli	千葉 H28	一年生雑草	花蕾発生・肥 大期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ブロccoli	香川 H28	一年生雑草	葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ブロccoli	福岡 H28	一年生雑草	葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ブロccoli	香川 H29	一年生雑草	葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ブロccoli	宮崎 H29	一年生雑草	葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			

⑳ だいこん

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-20：T A J の薬効・薬害試験結果概要（だいこん、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
だいこん	栃木 H28	一年生雑草	は種 12 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
だいこん	茨城 H28	一年生雑草	は種 21 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
だいこん	宮崎 H28	一年生雑草	は種前日、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
だいこん	鹿児島 H28	一年生雑草	は種 18 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
だいこん	茨城 H29	一年生雑草	は種 14 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
だいこん	鹿児島 H29	一年生雑草	は種 12 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
だいこん	栃木 H28	一年生雑草	主根肥大期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
だいこん	茨城 H28	一年生雑草	抽苔期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
だいこん	宮崎 H28	一年生雑草	主根肥大期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
だいこん	鹿児島 H28	一年生雑草	主根肥大期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
だいこん	茨城 H29	一年生雑草	主根肥大期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
だいこん	鹿児島 H29	一年生雑草	主根肥大期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			

⑫ ほうれんそう

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-21：T A Jの薬効・薬害試験結果概要（ほうれんそう、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
ほうれん そう	宮崎 H28	一年生雑草	は種 19 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ほうれん そう	茨城 H28	一年生雑草	は種 11 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ほうれん そう	茨城 H29	一年生雑草	は種 26 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ほうれん そう	千葉 H29	一年生雑草	は種 32 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ほうれん そう	宮崎 H29	一年生雑草	は種 15 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ほうれん そう	鹿児 島 H29	一年生雑草	は種 14 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ほうれん そう	茨城 H28	一年生雑草	葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ほうれん そう	千葉 H28	一年生雑草	葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ほうれん そう	兵庫 H28	一年生雑草	葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ほうれん そう	佐賀 H28	一年生雑草	葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ほうれん そう	茨城 H29	一年生雑草	葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ほうれん そう	鹿児 島 H29	一年生雑草	葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			
ほうれん そう	千葉 H30	一年生雑草	葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して 十分な効果が認めら れた。	薬害は認めら れなかった。
				300	150			
				500	100			

② レタス

薬効・薬害試験の結果一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-22：T A J の薬効・薬害試験結果概要（レタス、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
レタス	香川 H28	一年生雑草	定植 28 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
レタス	香川 H29	一年生雑草	定植 16 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
レタス	香川 H30	一年生雑草	定植前日、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	500mL 処理区で定植直後に生育遅延や欠株の薬害が認められたが、収量には影響しなかったため実用上問題ないと考えられた。
				300	150			
				500	100			
レタス	石川 R1	一年生雑草	定植 13 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
レタス	茨城 R1	一年生雑草	定植 8 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
レタス	千葉 R1	一年生雑草	定植 12 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
レタス	香川 R1	一年生雑草	定植前日、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
レタス	香川 H28	一年生雑草	結球期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
レタス	佐賀 H28	一年生雑草	結球期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
レタス	佐賀 H29	一年生雑草	結球期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
レタス	香川 H30	一年生雑草	外葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
レタス	佐賀 H30	一年生雑草	結球期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
レタス	千葉 R1	一年生雑草	結球期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			

③ かんしょ

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-23：T A J の薬効・薬害試験結果概要（かんしょ、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
かんしょ	宮崎 H29	一年生雑草	挿苗 18 日前、 雑草生育期	200	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				200	150			
				500	100			
かんしょ	沖縄 H30	一年生雑草	挿苗 21 日前、 雑草生育期	200	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				200	150			
				500	100			
かんしょ	茨城 R1	一年生雑草	挿苗 11 日前、 雑草生育期	200	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				200	150			
				500	100			
かんしょ	香川 R1	一年生雑草	挿苗 13 日前、 雑草生育期	200	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				200	150			
				500	100			
かんしょ	大分 R1	一年生雑草	挿苗 12 日前、 雑草生育期	200	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				200	150			
				500	100			
かんしょ	福岡 R2	一年生雑草	挿苗 12 日前、 雑草生育期	200	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				200	150			
				500	100			
かんしょ	鹿児島 H29	一年生雑草	栄養成長期、 雑草生育期	200	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				200	150			
				500	100			
かんしょ	宮崎 H29	一年生雑草	栄養成長期、 雑草生育期	200	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				200	150			
				500	100			
かんしょ	大分 H30	一年生雑草	栄養成長期、 雑草生育期	200	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				200	150			
				500	100			
かんしょ	沖縄 H30	一年生雑草	栄養成長期、 雑草生育期	200	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				200	150			
				500	100			
かんしょ	茨城 R1	一年生雑草	栄養成長期、 雑草生育期	200	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				200	150			
				500	100			
かんしょ	大分 R1	一年生雑草	栄養成長期、 雑草生育期	200	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				200	150			
				500	100			

④ ばれいしょ

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-24：T A J の薬効・薬害試験結果概要（ばれいしょ、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
ばれいしょ	長崎 H29	一年生イ科 雑草	植付 10 日前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	長崎 H30	一年生雑草	植付 10 日前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	茨城 R1	一年生雑草	植付 12 日前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	福岡 R1	一年生雑草	植付 7 日前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	長崎 R1	一年生雑草	植付 11 日前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	福岡 R2	一年生雑草	植付 23 日前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	鹿児島 H28	一年生雑草	植付後、 萌芽前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	茨城 H29	一年生雑草	植付後、 萌芽前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	長野 H29	一年生雑草	植付後、 萌芽前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て効果が認められ た。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	長崎 H29	一年生雑草	植付後、 萌芽前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	長崎 H30	一年生雑草	植付後、 萌芽前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	鹿児 島 H30	一年生雑草	植付後、 萌芽前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	茨城 R1	一年生雑草	植付後、 萌芽前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	長崎 R1	一年生雑草	植付後、 萌芽前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て効果が認められ た。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	鹿児 島 R1	一年生雑草	植付後、 萌芽前、 雑草生育期	100	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				100	150			
				200	100			
ばれいしょ	茨城 H28	一年生雑草	栄養成長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認め られた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
ばれいしょ	鹿児島 H28	一年生雑草	栄養成長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ばれいしょ	長崎 H28	一年生雑草	栄養成長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ばれいしょ	長崎 H29	一年生雑草	栄養成長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ばれいしょ	長崎 H30	一年生雑草	栄養成長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ばれいしょ	鹿児島 R1	一年生雑草	栄養成長期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較し て十分な効果が認 められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			

⑤ えだまめ

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

えだまめの一年生雑草に対する効果は、だいたいの試験で評価した。

表 1-25：T A J の薬効・薬害試験結果概要（だいたひ、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
だいたひ	兵庫 H28	一年生雑草	は種 7 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
だいたひ	福岡 H28	一年生雑草	は種 12 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
だいたひ	兵庫 H29	一年生雑草	は種 10 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
だいたひ	福岡 H29	一年生雑草	は種 9 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
だいたひ	佐賀 H29	一年生雑草	は種 17 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
だいたひ	福岡 H30	一年生雑草	は種 7 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
だいたひ	兵庫 H28	一年生雑草	は種後、 出芽前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
だいたひ	福岡 H28	一年生雑草	は種後、 出芽前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験 場所 実施 年度	試験条件					結果	
		対象雑草	使用時期	使用量		使用 方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
だいず	佐賀 H28	一年生雑草	は種後、 出芽前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	兵庫 H29	一年生雑草	は種後、 出芽前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	福岡 H29	一年生雑草	は種後、 出芽前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	兵庫 H30	一年生雑草	は種後、 出芽前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	茨城 H28	一年生雑草	定植 14 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	兵庫 H28	一年生雑草	定植前日、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	鹿児 島 H28	一年生雑草	定植 13 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	茨城 H29	一年生雑草	定植 12 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	兵庫 H29	一年生雑草	定植 17 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	鹿児 島 H29	一年生雑草	定植 11 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	山形 H28	一年生雑草	栄養成長前期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	長野 H28	一年生雑草	栄養成長前期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	下位葉にわずかな褐点 が認められたが、生育 や収量には影響しなかつ たため実用上問題ない と考えられた。
				300	150			
				500	100			
だいず	山口 H28	一年生雑草	栄養成長前期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	山形 H29	一年生雑草	栄養成長前期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	兵庫 H29	一年生雑草	栄養成長前期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められなかつ た。
				300	150			
				500	100			
だいず	兵庫 H30	一年生雑草	栄養成長前期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	株基部の葉の一部が褐 変したが、生育や収量 には影響しなかつたた め実用上問題ないと思 えられた。
				300	150			
				500	100			

㊸ さやいんげん

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-26：T A J の薬効・薬害試験結果概要（さやいんげん、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
さやいんげん	茨城 H28	一年生雑草	は種 18 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	鹿児島 H28	一年生雑草	は種 8 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	茨城 H29	一年生雑草	は種 8 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	鹿児島 H29	一年生雑草	は種 10 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	茨城 H30	一年生雑草	は種 10 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	鹿児島 H30	一年生雑草	は種 11 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	茨城 H28	一年生雑草	定植 15 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	茨城 H29	一年生雑草	定植 13 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	茨城 H30	一年生雑草	定植 10 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	茨城 R1	一年生雑草	定植 10 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	千葉 R1	一年生雑草	定植 17 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	鹿児島 R1	一年生雑草	定植 8 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	茨城 H28	一年生雑草	茎葉展開期、 生育期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	鹿児島 H28	一年生雑草	茎葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやいんげん	茨城 H29	一年生雑草	茎葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
さやい んげん	鹿児島 H29	一年生雑草	茎葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して効果が認め られた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやい んげん	鹿児島 H30	一年生雑草	茎葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやい んげん	茨城 R1	一年生雑草	茎葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやい んげん	千葉 R1	一年生雑草	茎葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			
さやい んげん	茨城 R2	一年生雑草	茎葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められ なかった。
				300	150			
				500	100			

㊦ さやえんどう

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-27：T A J の薬効・薬害試験結果概要（さやえんどう、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
さやえ んどう	茨城 H28	一年生雑草	は種 18 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	宮崎 H28	一年生雑草	は種前日、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	宮崎 H29	一年生雑草	は種前日、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	茨城 H29	一年生雑草	は種 10 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	千葉 H29	一年生雑草	は種 22 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	茨城 H28	一年生雑草	定植 15 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	宮崎 H28	一年生雑草	定植前日、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	宮崎 H29	一年生雑草	定植前日、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	千葉 H29	一年生雑草	定植 22 日前、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施 年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方 法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
さやえ んどう	宮崎 H29	一年生雑草	定植前日、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	茨城 H28	一年生雑草	茎葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	宮崎 H28	一年生雑草	幼苗期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	宮崎 H29	一年生雑草	茎葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	宮崎 H29	一年生雑草	茎葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
さやえ んどう	鹿児島 H29	一年生雑草	茎葉展開期、 雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			

㊸ 花き類・観葉植物

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

花き類・観葉植物の一年生雑草に対する効果については、花き類・観葉植物に含まれる、きく、トルコギキョウ、ひまわり、ゆり及びりんどうの試験で評価した。

表 1-28：T A J の薬効・薬害試験結果概要（きく、トルコギキョウ、ひまわり、ゆり、りんどう、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施 年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方 法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
きく	福島 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
きく	広島 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
きく	鹿児島 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
きく	広島 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
きく	香川 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
きく	鹿児島 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
きく	沖縄 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トルコギキョウ	福島 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トルコギキョウ	広島 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トルコギキョウ	福島 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
トルコギキョウ	広島 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ひまわり	茨城 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ひまわり	鹿児島 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ひまわり	茨城 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ひまわり	鹿児島 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ゆり	広島 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ゆり	山口 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ゆり	福岡 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
ゆり	鹿児島 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
りんどう	栃木 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
りんどう	山口 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
りんどう	栃木 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			
りんどう	山口 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布 (畦間)	無処理区と比較 して十分な効果 が認められた。	薬害は認められな かった。
				300	150			
				500	100			

⑳ 樹木類

薬効・薬害試験の結果、一年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

樹木類の一年生雑草に対する効果については、樹木類に含まれる、さつき、つつじ、つばき、さざんか及びかなめもちの試験で評価した。

表 1-29：T A J の薬効・薬害試験結果概要（さつき、つつじ、つばき、さざんか、かなめもち、一年生雑草）

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				結果		
		対象雑草	使用時期	使用量		使用方法	薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希釈 水量 (L/10a)			
さつき	山形 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
さつき	栃木 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区での雑草の発生が少なかつたため、薬効は判断としなかつた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
つつじ	千葉 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
さつき	三重 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
さつき	山形 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
さつき	栃木 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
さつき	東京 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
さつき	三重 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
つばき	千葉 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
さざんか	宮崎 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
つばき	千葉 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
さざんか	宮崎 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
かなめもち	茨城 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
かなめもち	千葉 H27	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				使用方法	結果	
		対象雑草	使用時期	使用量			薬効	薬害
				薬量 (mL/10a)	希積 水量 (L/10a)			
かなめもち	茨城 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			
かなめもち	千葉 H28	一年生雑草	雑草生育期	300	100	雑草茎 葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	薬害は認められなかった。
				300	150			
				500	100			

③⑩ 樹木等

薬効試験の結果、一年生雑草及び多年生雑草に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表 1-30 : T A J の薬効試験結果概要 (樹木等、一年生雑草、多年生雑草)

作物名	試験場所 実施年度	試験条件				使用方法	結果	
		対象雑草	使用時期	使用量			薬効	
				薬量 (mL/m ²)	希積 水量 (mL/m ²)			
樹木等	宮城 H27	一年生雑草	雑草生育期	0.5	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	
				0.5	200			
				1.0	100			
樹木等	千葉 H27	一年生雑草	雑草生育期	0.5	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	
				0.5	200			
				1.0	100			
樹木等	広島 H27	一年生雑草	雑草生育期	0.5	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	
				0.5	200			
				1.0	100			
樹木等	福岡 H27	一年生雑草	雑草生育期	0.5	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	
				0.5	200			
				1.0	100			
樹木等	兵庫 H28	一年生雑草	雑草生育期	0.5	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	
				0.5	200			
				1.0	100			
樹木等	岡山 H28	一年生雑草	雑草生育期	0.5	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	
				0.5	200			
				1.0	100			
樹木等	福岡 H28	一年生雑草	雑草生育期	0.5	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	
				0.5	200			
				1.0	100			
樹木等	宮城 H27	多年生雑草	雑草生育期	1.0	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	
				1.0	200			
				2.0	100			
樹木等	千葉 H27	多年生雑草	雑草生育期	1.0	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	
				1.0	200			
				2.0	100			
樹木等	広島 H27	多年生雑草	雑草生育期	1.0	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	
				1.0	200			
				2.0	100			
樹木等	福岡 H27	多年生雑草	雑草生育期	1.0	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。	
				1.0	200			
				2.0	100			

作物名	試験場所 実施 年度	試験条件				使用方法	結果 薬効
		対象雑草	使用時期	使用量			
				薬量 (mL/m ²)	希釈 水量 (mL/m ²)		
樹木等	兵庫 H28	多年生雑草	雑草生育期	1.0	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。
				1.0	200		
				2.0	100		
樹木等	岡山 H28	多年生雑草	雑草生育期	1.0	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。
				1.0	200		
				2.0	100		
樹木等	福岡 H28	多年生雑草	雑草生育期	1.0	100	雑草茎葉散布	無処理区と比較して十分な効果が認められた。
				1.0	200		
				2.0	100		

(3) 薬害

① 対象作物への薬害

表 1-1 から表 1-30 に示した薬効・薬害試験において、実用上問題となるような薬害は認められなかった。

えだまめに対する薬害は、だいずの試験で評価した。

T A J (グルホシネート 18.5 %液剤) を用いて実施した、薬害試験の結果概要を表 1-31 に示す。試験の結果、かんしょ及びキャベツにおいて実用上問題となる薬害が認められたが、キャベツの薬害については申請された使用量の 2 倍量(1000mL/10a)のため、実用上問題ないと判断した。

以上の結果から、申請作物に対する薬害を回避するため、使用上の注意事項を付す必要があると判断した。

表 1-31 : T A J の薬害試験結果概要

作物名	試験場所 実施 年度	使用時期	試験条件 使用量		使用 方法	結果
			薬量 (mL/10a)	希釈水量 (L/10a)		
			1,500	100		
小麦	福岡 H27	は種直前	750	100	雑草茎葉散布	薬害は認められなかった。
			1,500	100		
小麦	兵庫 H28	は種直前	750	100	雑草茎葉散布	薬害は認められなかった。
			1,500	100		
ブロッコリー	香川 H28	定植前日	500	100	雑草茎葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ブロッコリー	千葉 H29	定植直前	500	100	雑草茎葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ブロッコリー	宮崎 H29	定植前日	500	100	雑草茎葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ばれいしょ	鹿児島 H28	定植直前	500	100	全面土壌散布*	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ばれいしょ	長崎 H29	定植前日	200	100	全面土壌散布*	薬害は認められなかった。
			400	100		
ばれいしょ	長崎 H30	定植前日	200	100	雑草茎葉散布	薬害は認められなかった。
			400	100		
かんしょ	宮崎 H30	挿苗直前	500	100	雑草茎葉散布	挿苗直後に 500 mL 処理区で 33%、1000 mL 処理区で 42%の欠株枯死の薬害が生じて、収量に影響したため実用上問題ありと考えられた。なお、枯死株はマルチ付近の茎部が褐変し、活着しなかった。
			1,000	100		

作物名	試験場所 実施年度	試験条件			結果	
		使用時期	使用量			使用方法
			薬量 (mL/10a)	希釈水量 (L/10a)		
かんしょ	茨城 R1	挿苗直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
かんしょ	大分 R1	挿苗前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
きゅうり	茨城 H28	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
きゅうり	千葉 H28	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
きゅうり	山梨 H29	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
だいこん	茨城 H28	は種前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
だいこん	宮崎 H28	は種前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
だいこん	鹿児島 H29	は種直前	500	100	全面土 壌散布*	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
トマト	千葉 H28	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
トマト	石川 H29	定植直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
トマト	茨城 R1	定植直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ピーマン	千葉 H28	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ピーマン	兵庫 H28	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ピーマン	山梨 H30	定植直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
なす	茨城 H28	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
なす	千葉 H28	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
なす	山梨 H30	定植直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
だいず	兵庫 H28	は種直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
だいず	福岡 H29	は種前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
だいず	福岡 H30	は種前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
さやいんげん	茨城 H29	は種前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
さやいんげん	鹿児島 H29	は種直前	500	100	全面土 壌散布*	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
さやいんげん	茨城 H30	は種直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
さやえんどう	宮崎 H29	は種前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
さやえんどう	茨城 H29	は種直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
さやえんどう	千葉 H29	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		

作物名	試験場所 実施年度	試験条件			使用方法	結果
		使用時期	使用量			
			薬量 (mL/10a)	希釈水量 (L/10a)		
キャベツ	長野 H28	定植直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
キャベツ	兵庫 H28	定植前日	500	100	全面土 壌散布*	定植5日後に500mL処理区で苗時展開葉の葉縁の黄化の薬害が生じたが、その後回復し収量には影響しなかったため実用上問題ないと考えられた。定植5日後に1000mL処理区で苗時展開葉の葉縁の黄化と生育に遅延の薬害が生じ回復は遅れて収量に影響したため実用上問題ありと考えられた。
			1,000	100		
キャベツ	長野 H29	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
キャベツ	福岡 H30	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	定植4日後に1000mL処理区で葉の黄化・生育遅延・草丈抑制の薬害が認められたが、定植14日後には回復し、収量には影響しなかったため実用上問題ないと考えられた。
			1,000	100		
はくさい	兵庫 H28	定植直前	500	100	全面土 壌散布*	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
はくさい	茨城 H28	定植直前	500	100	全面土 壌散布*	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
はくさい	茨城 H29	定植直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ほうれんそう	宮崎 H28	は種直前	500	100	全面土 壌散布*	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ほうれんそう	茨城 H29	は種前日	500	100	全面土 壌散布*	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ほうれんそう	宮崎 H29	は種直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
レタス	茨城 R1	定植直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
レタス	千葉 R1	定植直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
レタス	香川 R1	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
たまねぎ	兵庫 H28	定植直前	500	100	雑草茎 葉散布	定植5日後に500mL処理区、1000mL処理区ともに葉先枯れなどの軽微な薬害が認められたが、定植14日後には回復し収量には影響しなかったため実用上問題ないと考えられた。
			1,000	100		
たまねぎ	福岡 H28	定植直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
たまねぎ	福岡 H29	定植直前	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ねぎ	京都 H28	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ねぎ	鹿児島 H28	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		
ねぎ	香川 H29	定植前日	500	100	雑草茎 葉散布	薬害は認められなかった。
			1,000	100		

*使用方法「全面土壌散布」と記載しているものは、処理時に雑草の発生がなかったため。